NISSAY ASSET MANAGEMENT

週間市場レポート（2022年12月12日～12月16日）

1）先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/12/9	先週末 2022/12/16	前週末比 (%)
日経平均株価（円）	日本	27,901.01	27,527.12	▲ 1.34 ↘
ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）	日本	1,961.56	1,950.21	▲ 0.58 ↘
ダウ工業株30種平均（ドル）	米国	33,476.46	32,920.46	▲ 1.66 ↘
Ｓ＆Ｐ500種指数	米国	3,934.38	3,852.36	▲ 2.08 ↘
ナスダック総合指数	米国	11,004.62	10,705.41	▲ 2.72 ↘
ユーロ・ストックス50指数	ユーロ	3,942.62	3,804.02	▲ 3.52 ↘
Ｓ＆Ｐ/ＡＳＸ300指数	豪	7,177.69	7,113.92	▲ 0.89 ↘
上海総合指数	中国	3,206.95	3,167.86	▲ 1.22 ↘
MSCI AC アジア（除く日本）※		820.09	806.11	▲ 1.71 ↘
東証ＲＥＩＴ指数	日本	1,935.44	1,978.61	2.23 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	米国	734.37	716.78	▲ 2.40 ↘
ＡＳＸ300 ＲＥＩＴ指数	豪	1,384.30	1,398.70	1.04 ↗
グローバルＲＥＩＴ（除く日本）※		174.51	170.82	▲ 2.11 ↘
日本10年国債（%）	日本	0.256	0.254	▲ 0.002 ↘
米国10年国債（%）	米国	3.578	3.482	▲ 0.096 ↘
ドイツ10年国債（%）	ドイツ	1.933	2.152	0.219 ↗
英国10年国債（%）	英国	3.181	3.329	0.148 ↗
ドル/円	米国	136.56	136.60	0.03 ↗
ユーロ/円	ユーロ	143.85	144.83	0.68 ↗
英ポンド/円	英国	167.45	166.14	▲ 0.78 ↘
豪ドル/円	豪	92.84	91.33	▲ 1.63 ↘
フィラデルフィア半導体指数		2,721.02	2,636.10	▲ 3.12 ↘
ＷＴＩ原油先物（ドル）		71.02	74.29	4.60 ↗
ＣＲＢ指数		266.28	271.38	1.92 ↗

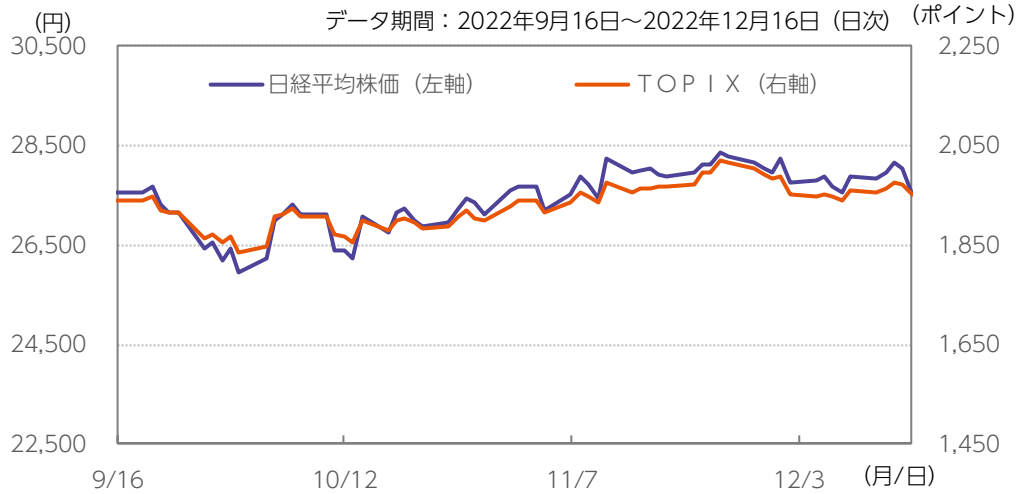
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース　＊ ▲はマイナスを表します。

2）日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。

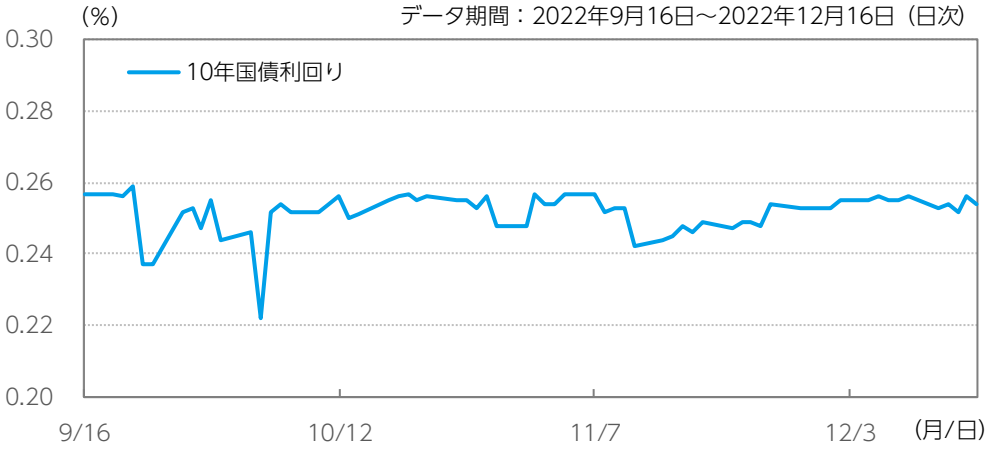
米金融引き締めが長期化するとの懸念から、前週末の米国株式市場が下落した流れを受け、週初は小幅に下落しました。11月の米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を下回り、米国の利上げが長期化するとの懸念が後退すると上昇したものの、12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを継続する姿勢を示すと、利上げにともなう景気減速懸念が意識され下落し、週末の終値は、およそ１ヵ月ぶりの安値となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。

日銀が年度内にも大規模な金融緩和策の修正を行うとの思惑から、上昇する場面もあったものの（価格は下落）、日銀による指し値オペ（公開市場操作）の実施で、長期金利の上昇は抑えられ、週間では前週末比で横ばいとなりました。

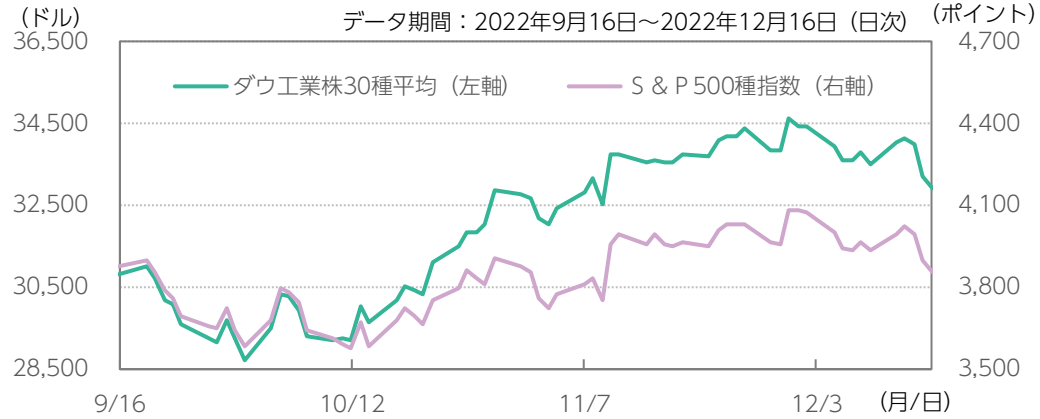


3）米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。

11月の米CPIの伸びが市場予想を下回り、FRBによる利上げの長期化懸念が後退すると、週前半は上昇しました。その後、12月FOMCで引き続きタカ派（金融引き締め推進派）的な姿勢が示されたことや、11月の米小売売上高が市場予想以上に低下したことから下落しました。週末も、FRB高官の発言を受け、積極的な利上げ継続にともなう景気減速が意識され下落しました。

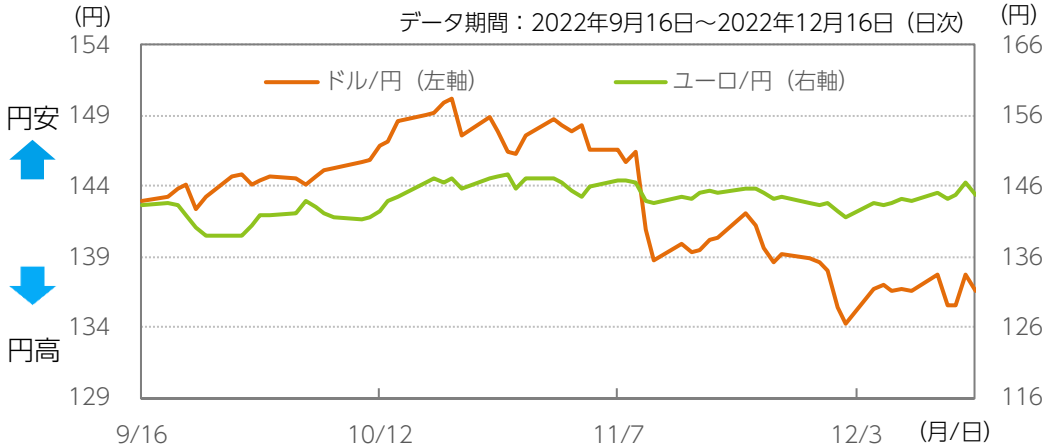


出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4）外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。

11月の米CPIや小売売上高などの重要な米経済指標や、FOMCの結果を受け、日米金利差をにらみながら、週を通じて一進一退の展開となりました。



5）今週の見通しについて

FRBの金融政策の先行きをめぐり、上下に振れやすい展開が続いています。

13～14日に開催されたFOMCでは、大方の市場予想通り0.5％の利上げが決定されました。前会合から利上げ幅は縮小されたものの、パウエルFRB議長の会見では、金融引締めを維持する姿勢が示されました。また、市場が注目するFOMCメンバーによる2023年末の利上げの最終到達点は5.1％と、前回9月見通し(4.6%)から引き上げられたことから、市場では利上げの継続が改めて意識されました。市場の関心は、利上げ停止時期とその先の利下げの可能性に移りつつあるとみられ、引き続き物価や景気関連の経済指標に注目が集まりそうです。

今週は日銀金融政策決定会合が開催されますが、黒田日銀総裁の任期を来年3月に控え、政策は現状維持される見込みです。なお、外国人投資家が休暇に入り始めるため、薄商いとなることが予想され、年末にかけて個別銘柄を物色する動きが強まり、株式市場は方向感の出にくい展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/